

地方公共団体の課題解決への支援

少子高齢化や公共施設等の老朽化に伴う収入の減少や支出の増加等、地方公共団体が抱えている財政面での課題に対して、研修会等を通じて課題解決への支援を実施。

概要

○地方公共団体の財政面での課題

少子高齢化
**収入減
支出増**

公共施設等
の老朽化
支出増

景気の悪化
収入減

○地方公共団体からの要望

- ・ 財務状況について、財政担当課だけでなく、事業担当課にも知って欲しい
- ・ 上下水道事業の経営課題について、職員間で認識の共有を図りたい
- ・ 公共施設等の更新を検討するに際し、手法の一つであるPFI（Private Finance Initiative）について知りたい

➤ 地方公共団体からの要望に応じて課題解決に適する参考資料の提供や研修会等の内容を検討

取組の成果

○財務状況把握ヒアリングの結果概要（診断表）に基づく研修会や実地監査の結果に基づく上下水道事業の経営状況に係る研修会の実施



（参加者の声）

- 客観的な第三者の意見を聞くことができた
- マクロの視点で財政面を考える良い機会となった
- 担当部署以外にも行政課題等を共有できよかった

○民間資金等活用事業推進機構（PFI推進機構）と連携した研修会等の実施

○上記研修会等の実施のほか、PFI事業をはじめとする収支改善取組事例の紹介等により地方公共団体の課題解決に向けた継続的な支援を実施

関連機関と連携した会議、勉強会等の開催（金融関係）

関連機関からの要望等に対応し、当局担当課が所掌する金融業務に関する勉強会や詐欺等の犯罪撲滅を目的とする会議を開催。

概要

○暗号資産取引の仕組み等にかかる講演会（裁判所）

大津地方裁判所から「暗号資産が絡む訴訟事案を扱う裁判官等を対象とした、暗号資産取引の基本的仕組みに関する講演を実施してほしい」との要望を受け、講演会を開催。

○大阪府警察本部との勉強会

大阪府警察本部から「捜査員の金融商品取引法等に関する知識向上を図るための勉強会を開催してほしい」との要望を受け、希望するテーマを確認した上で勉強会を開催。

○オール大阪特殊詐欺撲滅対策会議

大阪府警察本部と連携し、官民一体で大阪から特殊詐欺を撲滅することを目的に、特殊詐欺の被害者層である高齢者と密接に関係する団体のほか、特殊詐欺の被害防止に取り組む機関や団体、事業者、自治体等120の機関が一堂に集まり、約4年半ぶりに対面で開催。

取組の成果

○裁判官及び書記官約40名に対し、ブロックチェーンの仕組みや暗号技術等について説明を実施。高い専門性の習得が求められる裁判官等の知識拡充に貢献。



○捜査員約40名に対し、金融商品取引法の基礎知識や投資助言・代理業の概要等について解説。捜査員の知識向上により、円滑な捜査遂行等に貢献。



○府内の特殊詐欺被害の状況のほか、犯人からの実際の電話音声を会場に流し、大阪府警による「寸劇」等も実施。被害拡大防止に係る情報を共有することで、府民の大切な財産を守ることが期待される。



関連機関と連携した会議、勉強会等の開催（主計関係）

災害査定立会を円滑に行うため、他機関や府県主催の災害復旧研修へ講師の派遣を実施。関連機関からの要望等に対応し、災害査定立会業務に関する勉強会を、地方公共団体の職員も受け入れて開催。

概要

○災害査定立会の円滑な実施に向けた課題やニーズの掘り起こしと対応

- ・地方公共団体の災害査定立会に対する課題やニーズを深掘りすべく、府県災害担当者等を訪問して意見交換を実施。
- ・災害査定の基本的な対応方法や、オンラインによるリモート査定についての勉強会等を望む声を把握し、当局が対応可能な方策を検討。

○災害復旧事業研修会への講師派遣

- ・災害復旧事業を円滑に行うため、他機関や県主催の災害復旧研修へ講師の派遣を実施。
- ・具体的には、兵庫県・和歌山県の災害復旧担当者等向けの研修会に対して、立会官の講師派遣を計3回実施（令和4年度）。

取組の成果

○災害査定立会事務現地勉強会

- ・和歌山県内の災害現地にて勉強会を実施。和歌山県及び市町職員約40名に対し、災害査定立会の実施手順等を説明。地公体職員の災害査定に係る知識向上に貢献。



○リモート査定研修会

- ・近畿地方整備局、京都府と協力し、市町村担当者に対して災害査定をオンラインで行う「リモート査定」に関する研修会を実施。



○災害復旧事業研修会への講師派遣

- ・立会官の役割や着眼点など基本的な内容を中心に、具体的な事例などを交えながら説明。関係機関、府県担当者のスキル向上に貢献。



大阪・関西万博開催に向けた機運醸成の取組

大阪・関西万博について、開催に向けての機運が高まっていないとの課題を聴取し、取組を検討。取組の検討にあたり対象へアンケートを実施する等、内容の充実を図った。

概要

○万博活用キックオフ・シンポジウム (R5.2.24)

金融機関の万博への協力機運を醸成するため、万博に取り組むキーパーソンが一堂に集うシンポジウムを開催。

○万博deじもと魅力発信セミナー (R5.3.20)

自治体を対象にトークセッション・交流会等を通じて参加者の連携を図り、機運醸成につなげるセミナーを実施。

○第3回関西交通ネットワーク大商談会 (R5.5.30)

管内金融機関の取引先と高速道路SA・PAのテナント事業者の商談会を開催。商談会を通じて参加事業者の万博や金融機関に対する要望を聴取、今後の取組に繋げていく予定。

取組の成果

○万博活用キックオフ・シンポジウム (R5.2.24)

約60名が参加。パネルディスカッション等が出た意見、万博会場内外での取組、情報収集の方法等をまとめ、シンポジウム後に金融機関へ配付。



○万博deじもと魅力発信セミナー (R5.3.20)

現地、オンライン併せて約80名が参加。現地参加者のみを対象とした名刺交換会でも盛んに意見交換が行われた。

